

2020年度（2021年3月期） 決算説明会

2021年5月13日

東証1部 4559

ゼリア新薬工業株式会社
代表取締役社長 伊部 充弘

I. 2020年度連結業績

I-1 概要

I-2 医療用医薬品事業

I-3 コンシューマーヘルスケア事業

I-4 海外売上高

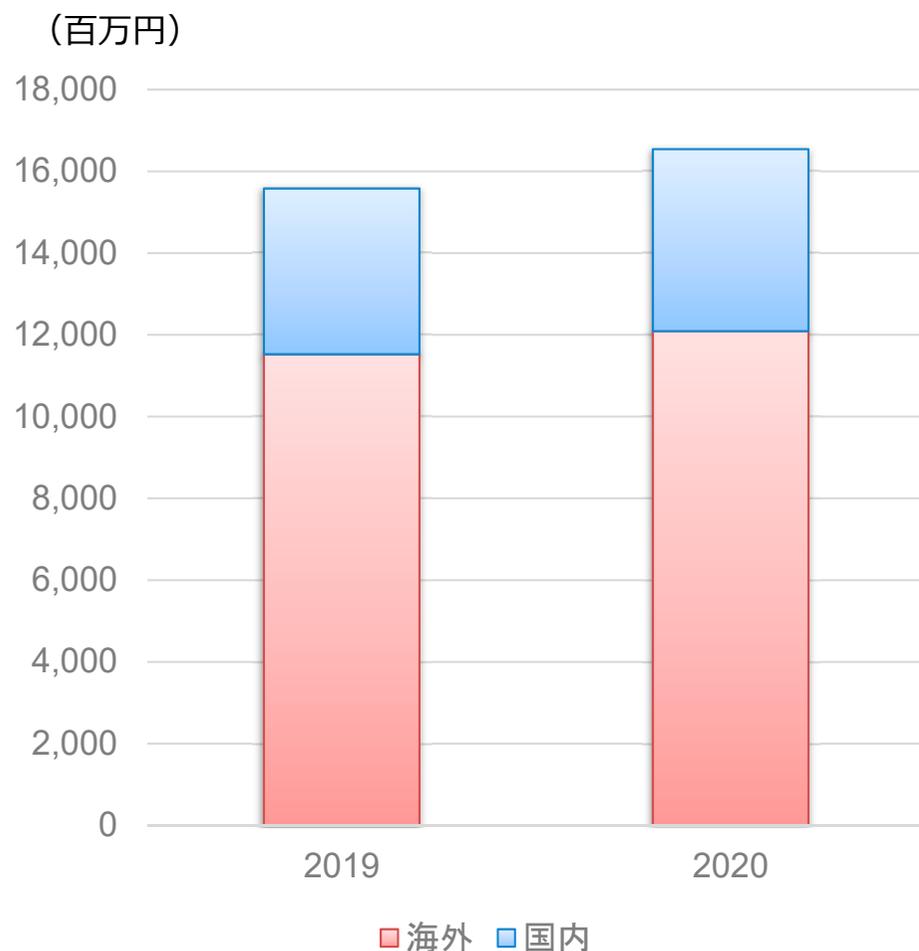
	2019年度		2020年度		
	実績	売上比	実績	売上比	対前年伸率
(百万円)					
売上高	60,426	100.0%	55,442	100.0%	-8.2%
売上総利益	43,791	72.5%	39,634	71.5%	-9.5%
販売管理費	39,696	65.7%	36,192	65.3%	-8.8%
研究開発費	6,342	10.5%	5,411	9.8%	-14.7%
広告宣伝費	3,390	5.6%	1,783	3.2%	-47.4%
営業利益	4,094	6.8%	3,442	6.2%	-15.9%
経常利益	3,879	6.4%	3,175	5.7%	-18.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,925	4.8%	3,119	5.6%	6.6%
一株当り配当	34円		34円(予定)		

I-2 医療用医薬品事業 製品別売上高

- ◆ **アサコール** 海外市場が引き続き堅調に推移
- ◆ **エントコート** 海外の一部の国の薬価改定が影響し微減
- ◆ **アコファイド** 単独販売体制への移行に伴う在庫調整の影響により減少

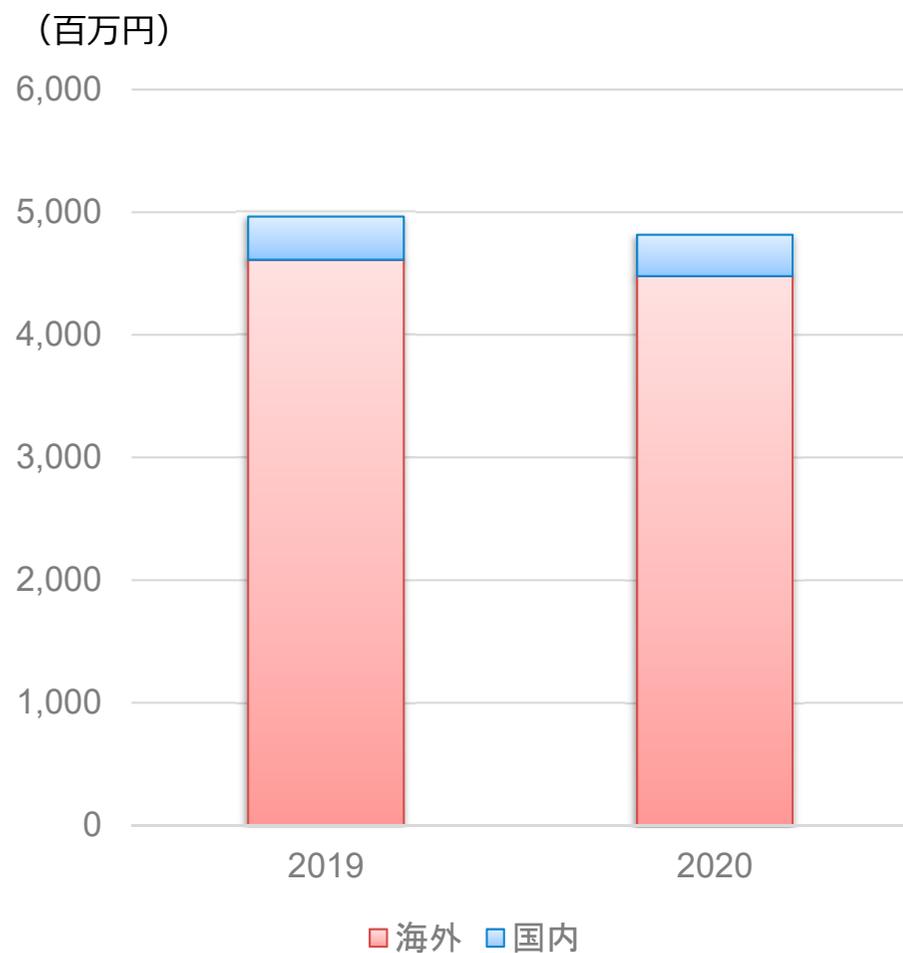
	2019年度	2020年度	
	実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)			
医療用医薬品事業	31,768	30,023	-5.5%
アサコール	15,581	16,542	6.2%
エントコート	4,965	4,817	-3.0%
アコファイド	3,055	1,667	-45.4%
その他	8,166	6,995	-14.3%

◆ 海外市場が堅調に推移し、前年比増収



- 国内市場
 - 引き続き競合品が市場浸透
 - 当社単独販売へ移行により売上増
- 海外市場の売上が引き続き増加
 - イギリス、フランスなどの国々で成長
 - 1600mg錠の市場浸透

◆ 欧州の一部の国における薬価引き下げが影響



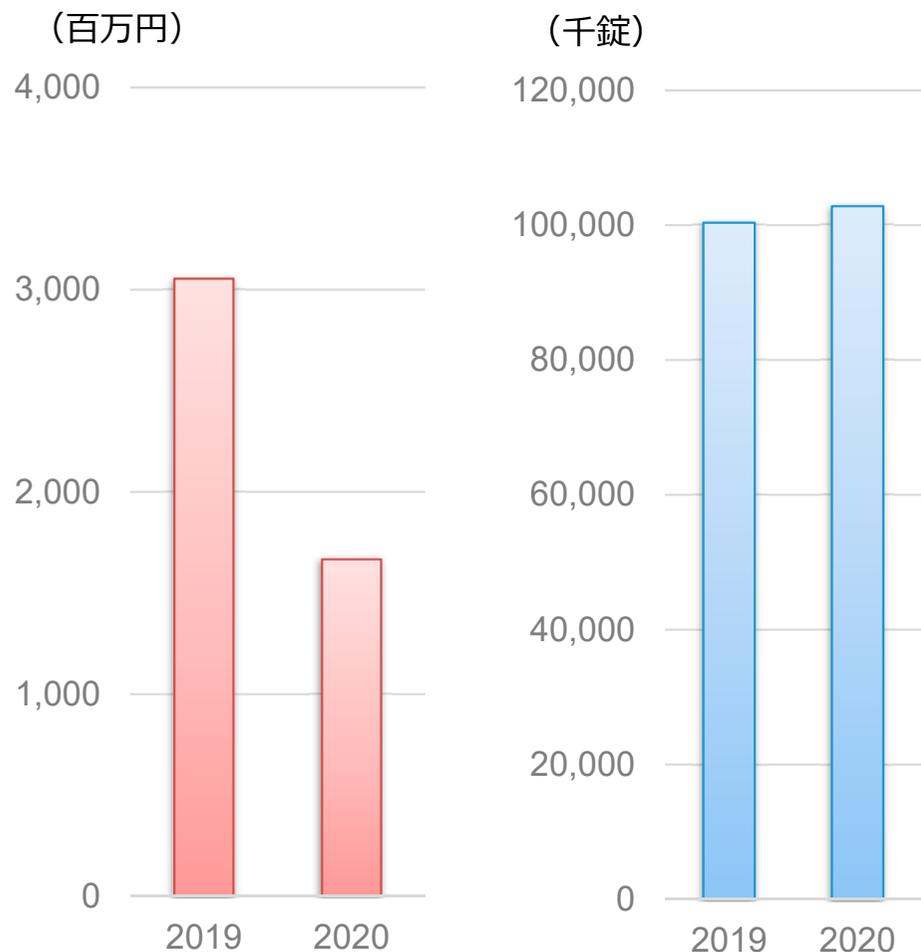
● 海外市場

- 欧州の一部の国における薬価改定などの影響により減少

I-2 医療用医薬品事業：アコフアイド

◆ 販売体制の移行準備により、出荷金額は減少

◆ 医療機関への納入は増加



出荷金額

医療機関への納入数量

- アステラス製薬との共同販促終了及び販売移管（2021年4月）に伴い、第4四半期において在庫調整が発生
- 医療機関への納入は伸長
- 新型コロナウイルスの影響
 - 上期を中心に発生したが、その後は大きな影響はなし

◆ 発売後、着実な採用増で推移

- 2020年9月 発売
- 新型コロナウイルスの影響により対面でのディテール活動が制約されるなか、デジタルマーケティングを積極的に展開
- 消化器科、婦人科を中心に着実に進捗

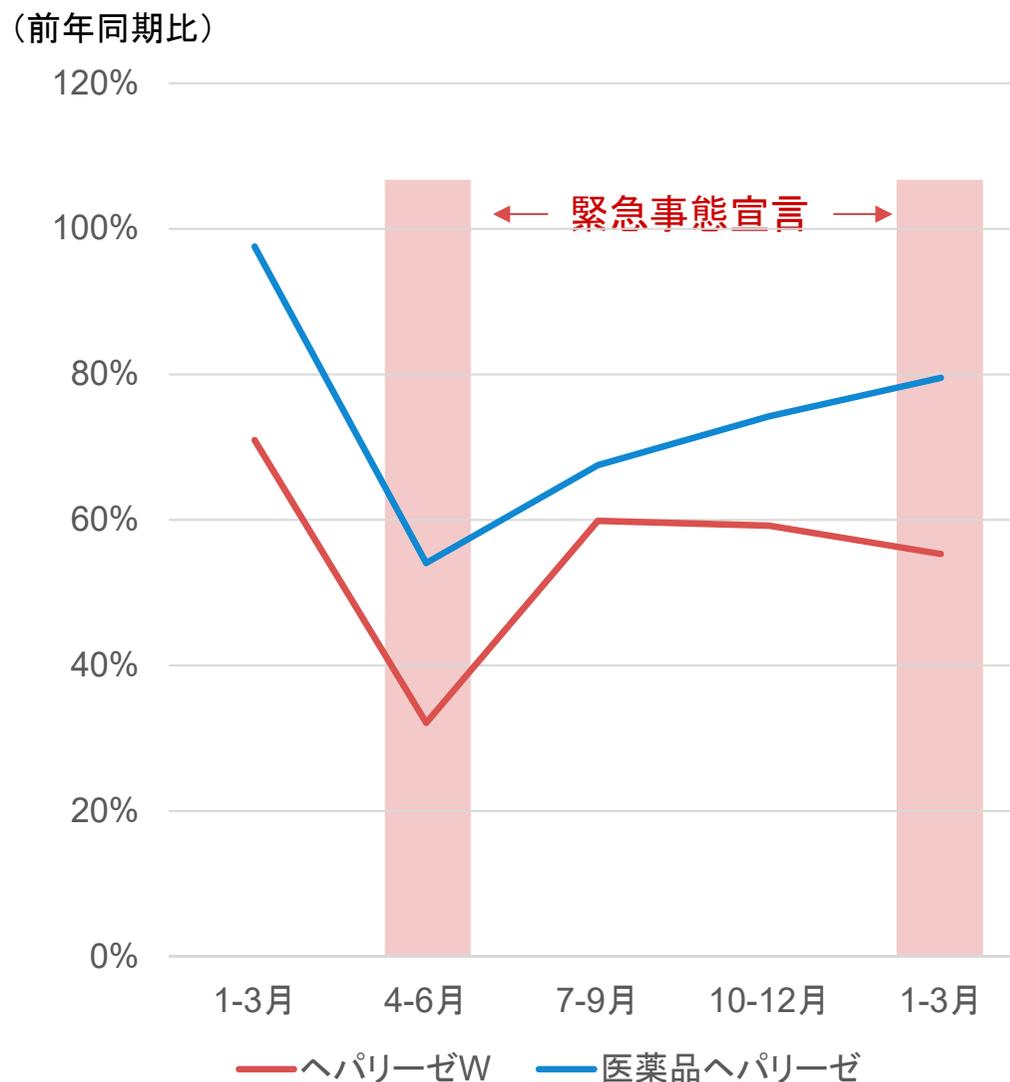
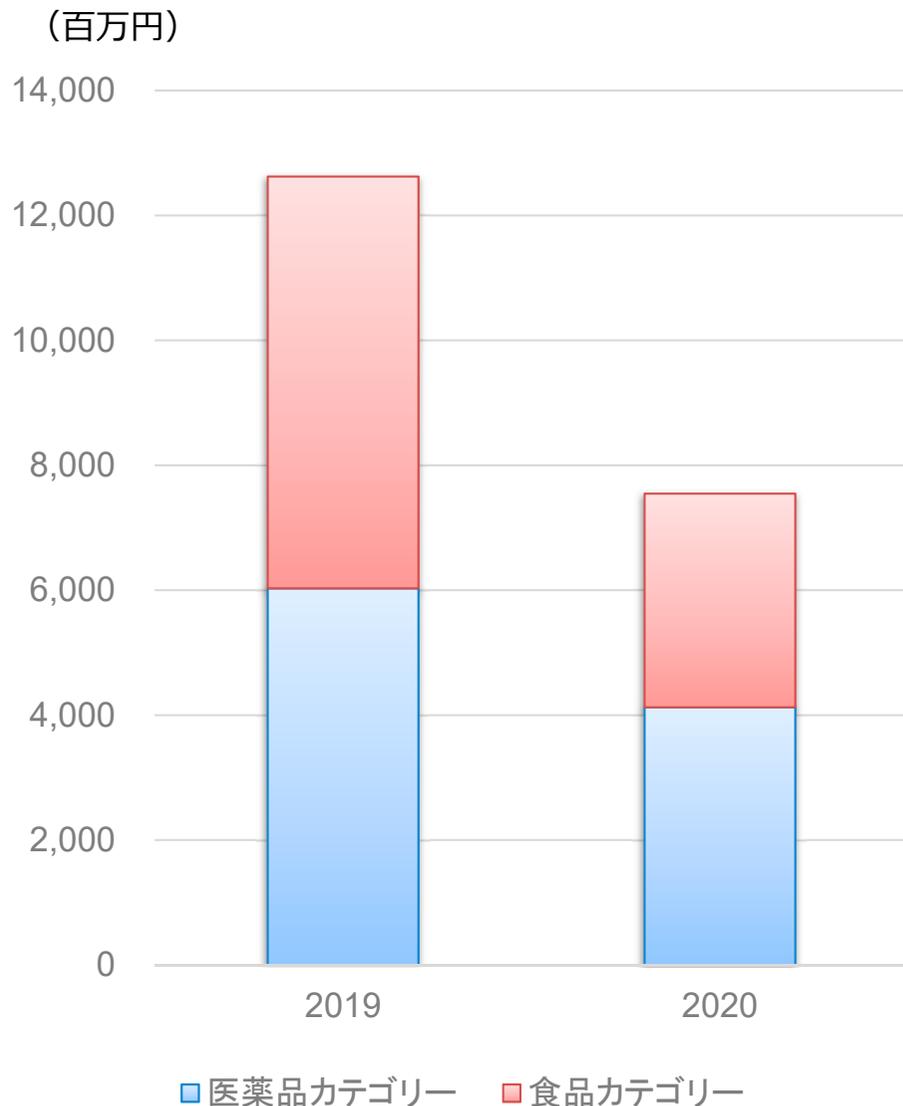


- ◆ 新型コロナウイルス感染第3波の影響で、ヘパリーゼ群の回復に遅れ
- ◆ 好調な殺菌消毒剤、健創製薬が売上に貢献したものの、主力品の落ち込みをカバーしきれず

	2019年度	2020年度	
	実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)			
コンシューマーヘルスケア事業	28,502	25,261	-11.4%
ヘパリーゼ群	12,624	7,546	-40.2%
医薬品	6,031	4,126	-31.6%
清涼飲料水 栄養補助食品	6,593	3,420	-48.1%
コンドロイチン群	6,625	6,079	-8.2%
ウィズワン群	1,672	1,635	-2.2%
その他	7,580	10,000	31.9%

◆ 新型コロナウイルス コンビニエンスストア市場で緊急事態宣言の影響が甚大

- 医薬品カテゴリーのヘパリーゼは第1四半期以降回復傾向が認められる
- コンビニエンスストアにおけるヘパリーゼWシリーズの回復が頭打ち



◆ **コンドロイチン群** **緊急事態宣言に呼応した形で売上に影響**

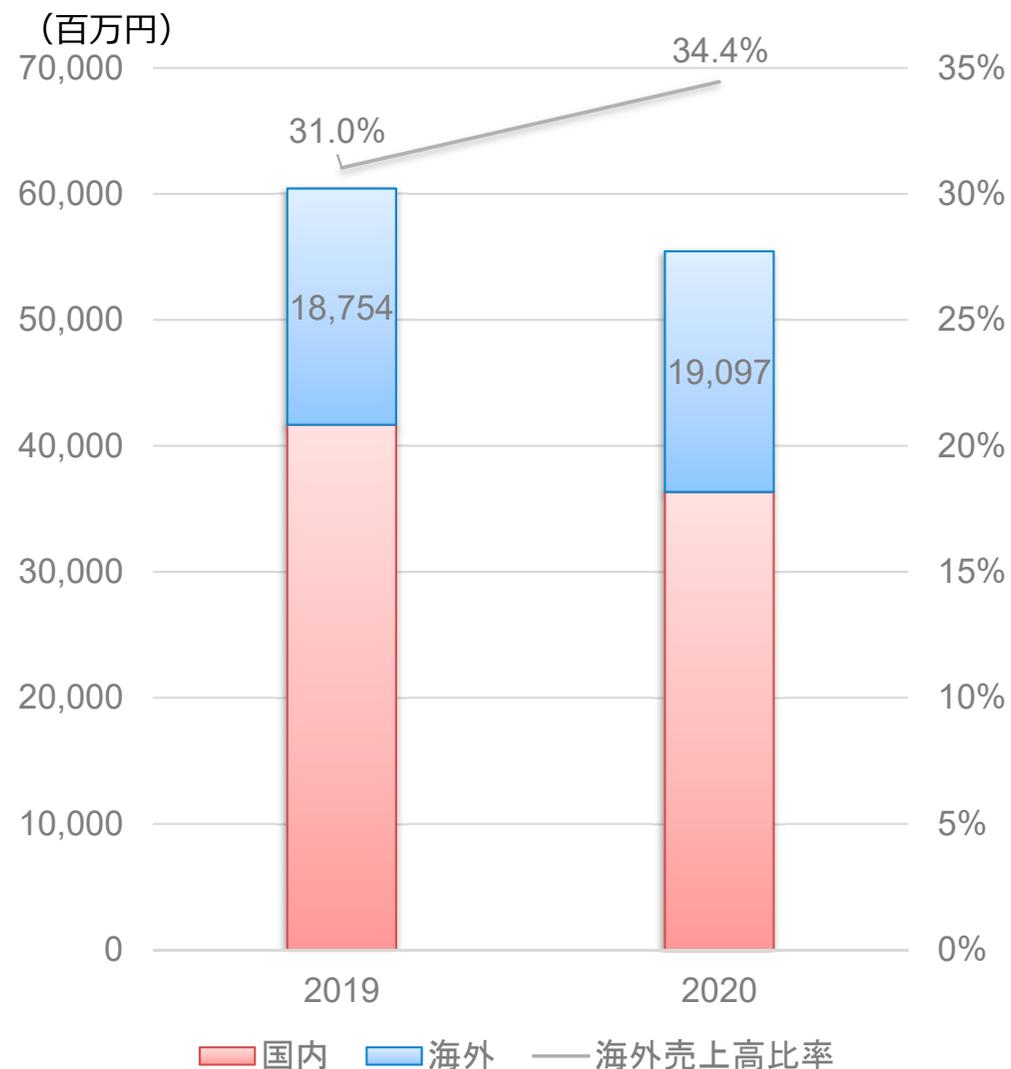
- 緊急事態宣言期間中、高齢者を中心とした購入層が外出を自粛した影響を受ける
- 宣言解除後は速やかに回復する傾向にあった

◆ **その他製品群** **手指消毒剤が好調に推移**

- 手指消毒・衛生用品の需要高まりによって、年初からマジックハンドクリームなどの製品群が好調に推移
- 健創製薬の連結子会社化が、コンシューマーヘルスケア事業の売上の底上げに寄与

I-4 海外売上高

- ◆ アサコールが好調に推移し、海外売上高は引き続き増加
- ◆ 新型コロナウイルスの影響として、期中に一部の国でエントコートの出荷遅延が発生するも、通期では影響なし



Ⅱ. 2021年度の取り組み

- Ⅱ-1 医療用医薬品事業
- Ⅱ-2 コンシューマーヘルスケア事業
- Ⅱ-3 2022年3月期 連結業績概要
- Ⅱ-4 開発パイプラインの状況
- Ⅱ-5 持続的成長に向けた取り組み

国内 医療用医薬品事業

- フェインジェクトの市場浸透に注力
- アコファイド 単独販促、単独販売への移行

海外 医療用医薬品事業

- ASACOL 1600mg Tablet
引き続き未販売国における上市活動を推進
- ASACOL 中国市場 発売間近
- DIFICLIR
2020年11月 TillottsがAstellas Pharma Europe Ltd.より製造販売権を取得
年度内にすべての製造販売承認の承継を完了予定
- Tillottsの営業体制強化
 - 欧州に新たな販売子会社を設立
 - 自社販売体制の拡大により域内でのTillottsのプレゼンスを拡大

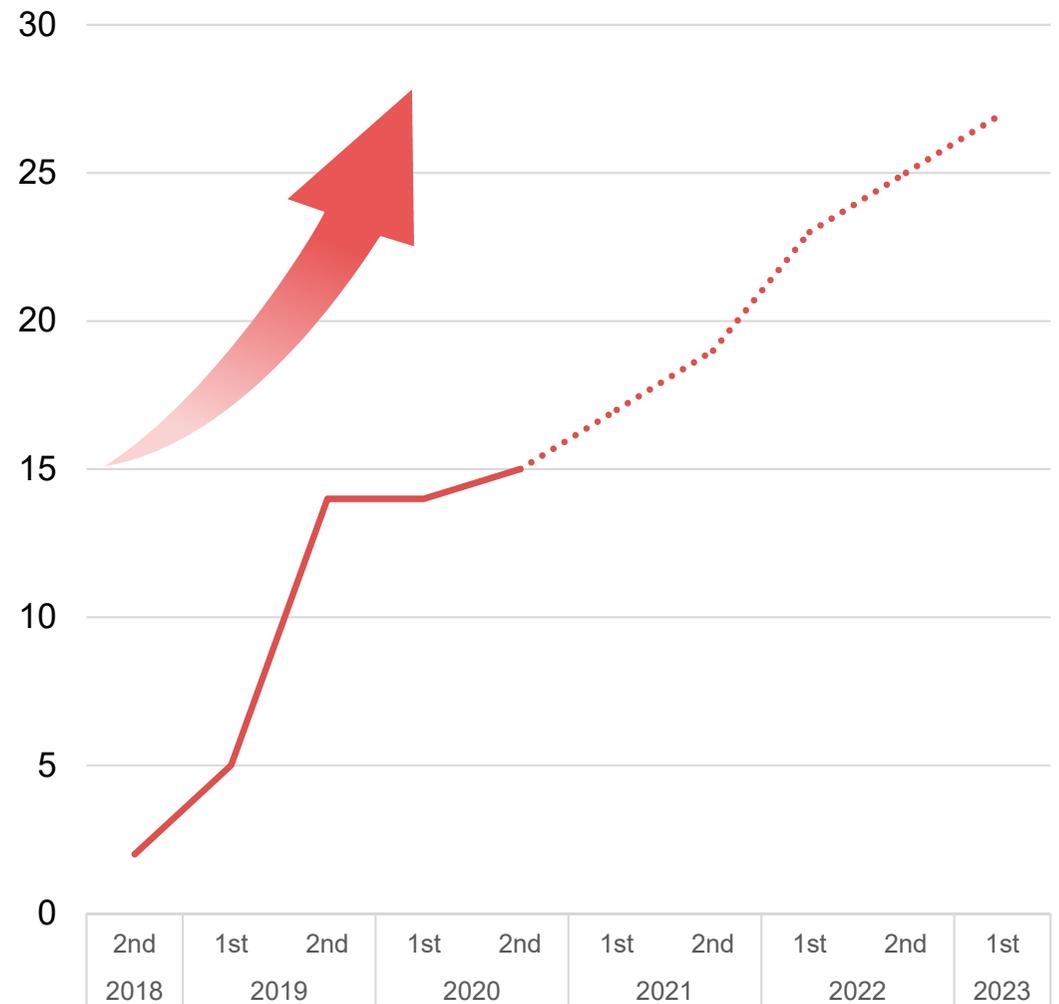
鉄欠乏性貧血治療剤

- 2020年9月 発売
- 世界83カ国で承認取得され、鉄欠乏性貧血あるいは鉄欠乏症の治療に使用されている薬剤
- 国内の鉄欠乏性貧血患者 約470万人
(JMDC P-Market 2019年12月～2020年11月)
- 静注鉄剤 直接の競合品は静注鉄剤1剤
- 経口鉄剤の服薬が困難、効果が不十分な患者対象
- スタートアップの感触
新型コロナウイルスによる医療機関への訪問規制のある中、デジタルマーケティングの積極的な活用により、効率的な情報提供活動を展開
まだ規模は小さいものの、医療機関への納入は着実に増加



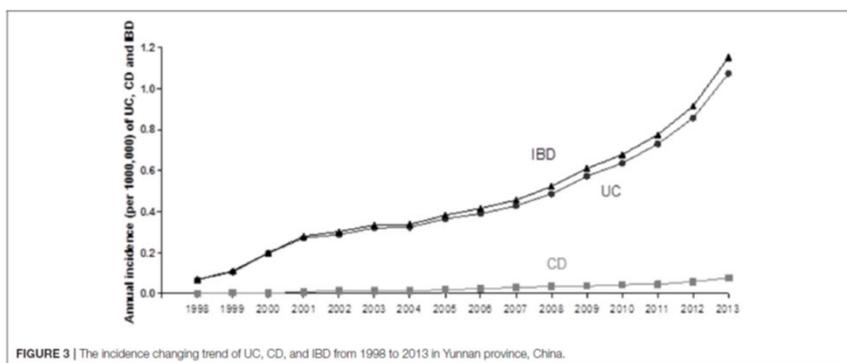
- 2020年度終了時点で、ドイツ、フランスをはじめとする15カ国で販売中
- 競合する高用量製剤の処方獲得を目指してプロモーションを展開
- 2021年以降も引き続き販売国を拡大する計画

欧州を中心に販売国数拡大中



今期 Distributorを通して販売開始予定

中華人民共和国の炎症性腸疾患罹患率
潰瘍性大腸炎の罹患率が顕著に上昇



Cui G and Yuan A. A Systematic Review of Epidemiology and Risk Factors Associated With Chinese Inflammatory Bowel Disease. Front Med. 2018; 19(5):183. より引用

中華人民共和国のMesalazine製剤市場

今後大きな拡大が見込まれる中華人民共和国の
潰瘍性大腸炎治療薬市場に参入

TillottsがDIFICLIR（フィダキソマイシン）の製造販売を承継 - クロストリジウム・ディフィシル感染症治療の第一選択薬 -

2020年11月
Astellas Pharma Europe Ltd.から製造販売権を取得

欧州を中心に30数カ国で販売

中東、アフリカ、CIS地域への
販売拡大可能



Tillotts Pharma 営業体制を強化

スイス本社

欧州子会社

- 北欧・バルト三国・ポーランド
- アイルランド
- 英国
- チェコ
- スペイン・ポルトガル
- ドイツ
- フランス

新営業体制

- イタリア新子会社設立
イタリア、ギリシャを管理
- オーストリア
スイス本社が管理
- ベネルクス三国
フランス子会社が管理



新型コロナウイルスにより生活者の購買行動が変化するなか新たな需要を喚起

- コンビニエンスストア市場 ヘパリーゼW群
- 薬局ドラッグストア市場 医薬品ヘパリーゼ群
コンドロイチン群

OTC医薬品



コンドロイチンZS錠
(関節炎・腰痛治療薬)



ヘパリーゼプラスII
(滋養強壮薬)

清涼飲料水・炭酸飲料



ヘパリーゼW ヘパリーゼWハイパー ヘパリーゼWプレミアム ヘパリーゼWプレミアム極 ヘパリーゼW炭酸

①新たなカテゴリーとして、西洋ハーブ群開発を継続・育成

- 2014年 月経前症候群治療薬「プレフェミン」発売
- 2021年 足のむくみを改善する西洋ハーブ「ベルフェミン」発売予定
- 引き続き西洋ハーブ群の開発を継続



プレフェミン
(月経前症候群治療薬)

②ヘパリーゼ群、コンドロイチン群に続く新規主力製品の開発

- 特徴ある新製品を開発し、新ブランドとして育成

③ 既存製品の育成

- プレバリン群の育成
- マスデント群の育成
- 「イオナ」ブランドをはじめとする化粧品製品群の育成

OTC医薬品



プレバリンαクリーム
(皮膚用薬)

オーラルケア・化粧品



マスデント ケア
(薬用はみがき)



イオナ化粧品

Ⅱ-3 2022年3月期 連結業績予想

	2021年3月期		2022年3月期	
	(百万円)	実績	予想	対前年伸率※
売上高		55,442	60,000	—
営業利益		3,442	4,800	—
経常利益		3,175	4,800	—
親会社株主に帰属 する当期純利益		3,119	3,300	—
一株当り配当		34円(予定)	34円(予想)	
研究開発費		5,411	6,300	16.4%
広告宣伝費		1,783	2,600	45.8%
海外売上高		19,096	23,000	20.4%

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前年伸率は記載していません。

Ⅱ-4 開発パイプラインの状況

開発番号/名称	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認取得	販売
Z-206 (アサコール)	潰瘍性大腸炎	中国 (Tillotts/ゼリア共同)					
Z-100	子宮頸癌	アジア共同治験 (ゼリア)					
Z-338 (アコファイド)	小児 機能性ディスペプシア	日本 (ゼリア)					
Z-338 (アコファイド)	機能性ディスペプシア	欧州 (ゼリア)					
ZG-801	高カリウム血症	日本 (ゼリア)					
ZG-801 国際共同治験への参加	高カリウム血症を 伴う慢性心不全	日本 (ゼリア)					

《投資》

ZGI において複数案件を検討中

- ・ 消化器領域および既存事業との親和性の高い領域の薬剤導入

M&Aを含めた成長戦略

- ・ 現有事業と相乗効果を発揮する領域
- ・ 経営資源など効率的な展開が可能な領域

《その他》

- ・ 自社製品の海外導出の推進

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203